

# EPCoM ワークショップ in 末長小学校 進行案

作成：松尾祐孝

(日本現代音楽協会事務局長／現代音楽教育研究プログラム研究部会)

\* 訪問教育機関：川崎市立末長小学校

校長：金子やちよ先生 音楽担当教諭：堀野貴美子先生

\* 実施日程：2012年12月5日(水) 6日(木) 7日(金) 10日(月)

\* 実施授業：3年生 45分授業×5クラス×2回=10コマ

\* 授業テーマ：「リコーダーと日本の音で楽しもう～みんなで音楽づくり！」

\* EPCoM参加作曲家メンバー：松尾祐孝(ワークショップリーダー)

+各回サポーター若干名

## ♪♪♪ 1回目授業進行案 ♪♪♪

2012年12月5日(水) 2時限・3時限・4時限

6日(木) 2時限・3時限・4時限(この範囲の計5コマ)

- 1) あいさつ&訪問参加者自己紹介 5分
- 2) 日本の音を聴いてみよう！(観賞教材サンプルCD再生) 5分  
「日本の音」のサンプル：法螺貝、梵鐘、風鈴、花火
- 3) アイスブレイク(全員で輪になって) 5分  
a) 手拍子リズム応答 → b) 声や身体表現の応答 → c) 手拍手回し…etc.  
～アイスブレイク終了後に4グループに別れる～  
(各グループにサポーターも加わる)
- 4) リコーダーで自分のアイデアで音を探してみよう！ 10分
- 5) 竹の使い方を工夫して繊細な音を創ってみよう！ 10分  
パターンの反復で音楽が造れることを易しく説明(実演即興を提示)
- 6) 集団即興創作(音楽づくり)の準備  
～まとめ=次回までに考えておくことの確認  
#イ) テーマ「ロングトーンと同音連打」の発表  
#ロ) リコーダーと竹と身体表現を組み合わせ創ってみよう 10分  
※ 必要に応じて、サンプル・パフォーマンスの提示を盛り込む。

♪♪♪ 2回目授業進行案 ♪♪♪

2012年12月7日(金) 2時限・3時限・4時限

10日(月) 2時限・3時限・4時限 (この範囲の計5コマ)

- 1) あいさつ&訪問参加者自己紹介 5分
- 2) アイスブレイク (ほんの少力で「音楽づくり」に移行)
  - a) 音で会話をしてみよう 5分
- 3) 集団即興創作(「音楽づくり」)
  - #イ) 今日のテーマ「ロングトーンと同音連打」の確認
  - #ロ) グループ毎に「ロングトーンと同音連打」で“音楽づくり” 20分
- 4) 相互鑑賞(各グループの発表) 10分
- 5) まとめ～鑑賞との連系 5分

授業最後に「ロングトーンと同音連打」による音楽をさわりだけでも聴く。できれば昼休みに楽章全体を鑑賞してもらおう。

鑑賞教材：ベートーベン／交響曲第5番より第1楽章

松尾祐孝／ディストラクションⅧートロンボーンとピアノの為に

参考楽曲＝《ロングトーンと同音連打》の要素を多く含む楽曲のリスト  
－小学校学習指導要領（音楽）で示してきた鑑賞共通教材の第2～4学年の中から－  
スッペ／歌劇『軽騎兵』助曲（第3学年）  
シューベルト／『軍隊行進曲』（第4学年）  
ベートーベン／トルコ行進曲（第2学年）

### 「音楽づくり」に関する参考文献

－日本現代音楽協会／現代音楽教育プログラム研究会及びそのメンバー関連－

1) 『“音楽づくり”ワークショップを楽しむために』

坪能克裕・佐藤昌弘・松尾祐孝 共著

（マザーアース刊／1,260円）＜受注生産＞

2) 『“音楽づくり”ワークショップを楽しむためにⅡ』

日本現代音楽協会 [現代音楽教育プログラム研究会] 編

（マザーアース刊／1,470円）＜受注生産＞

3) 「日本の伝統文化の特質に基づく音楽教材の現代化」

－学校音楽教育および音楽教員養成において－

平成17～20年度科学研究補助金基盤研究（C）研究報告書

洗足学園音楽大学刊／研究代表者：澤田篤子

（「第3章：日本の音による音楽づくり」を松尾祐孝が執筆）